

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市母子・父子福祉センター
所在地	四日市市諏訪町2番2号 四日市市総合会館4F
指定管理者	<p>名称 社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会</p> <p>代表者 会長 伊藤 八峯</p> <p>住所 四日市市諏訪町2番2号</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次第の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>こども未来部こども家庭課</p> <p>TEL：059-354-8276</p> <p>E-mail：kodomokatei@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

協定に基づいた適切な管理運営が行われており、指定管理者として市が要求する基準はクリアしています。

令和元年度は、平成30年度と比較すると、相談受付件数の増加や延べ利用者数の増加が見られ、嘱託職員を増員した成果があったと考えられます。

また、収支面に関し、コスト意識を持った運営が行われていることは評価できます。一方、増員した嘱託職員をより活用するべく、センターの専門性を高めるための支出及び利用者の利便性を高めるために必要不可欠な支出は何であるかの再検討が必要と考えます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

施設の価値を高め、よりよい管理運営のため、下記の点を踏まえた働きかけや改善提案を行います。

- ・増員した嘱託職員を中心に、より専門的な相談事業をどのように行っていくかについて、協議や助言を行います。

- ・講座企画事業において、より魅力的な講座が実施されるよう指定管理者に働きかけ、ニーズ把握、事業結果のフィードバック実施、効果的な広報活動がなされているかについて評価を行います。

- ・自主サークル支援事業において、これまでの支援は継続しつつ、新規会員の勧誘等を含めた支援や広報活動を指定管理者がどのように行っているかを確認し、事業持続性についての評価を行います。

- ・支出について、コスト意識を持った運営を継続することは当然ですが、一方で、増員した嘱託職員をより活用するために、センターの専門性を高める支出及び利用者の利便性を高めるために必要不可欠な支出は何であるかを再検討します。

- ・指定管理者が行う父子家庭のニーズ把握について、市としての分析や助言を行います。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

ひとり親家庭等からの相談受付、ひとり親家庭等の技能習得及び交流のための講座を企画するとともに、四日市母子寡婦福祉会の支援やサークル活動の支援を行いながら、ひとり親家庭同士の交流の場や機会を提供することにより、ひとり親家庭等の福祉の増進を図るといふ施設の目的に沿った運営管理が行われました。同時に、施設の使用許可を含め、市民の平等な利用の確保に努めました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

ひとり親等の技能習得及び交流のための独自講座としては、パソコン講座（ワード&エクセル操作）及び飾り巻き寿司講座が行われ、受講者の満足度も高く、一定の評価ができます。パソコン講座は前年度よりも受講人数が増加しているため、一定の評価ができますが、一方で、飾り巻き寿司講座は受講人数が少なく、開催時期や広報については課題が残るため、今後の検討を要します。相談事業に関しては、より充実した相談に乗れるよう、専門性をより高める必要があります。また、サークル活動支援事業に関しては、「かけはし」や社会福祉協議会のホームページで周知活動を行ったものの、前年度より利用者が減少しており、来年度はさらに周知活動に力を注ぐ必要があると思われます。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

条例や規則を遵守し、適切な事業運営がなされました。センターは、常時2名となるよう、嘱託職員1名及び臨時職員3名、社会福祉協議会正職員（兼務）1名が交代で事務所に常駐しました。朝礼は毎日欠かさず行われ、現場と社会福祉協議会事務局との間の連携が図られました。職員への研修としては、定期的に家庭児童相談室付母子父子自立支援員へ依頼をし、30分程度、ひとり親家庭への支援施策の勉強会を開催し、センター職員の責任性・実行性の向上に努めました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

毎日の利用状況や事業に関する事務書類を遅滞なく整備し、協定どおり市への報告期限についても遵守されました。経理関係については、社会福祉協議会事務局で適切な管理が行われました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

総合会館での安全管理及び緊急時対応を念頭におきながら、社会福祉協議会事務局との連携を図り、緊急時・災害時に備えました。四日市市社会福祉協議会第1次事業継続計画（BCP）には緊急時の対応が明記されており、当該計画の内容を職員一人ひとりが理解するよう努めました。防災訓練については、社会福祉協議会で行われた訓練に所長が参加し、臨時職員についてはその内容を後日共有するなどして、防災意識を高めました。

社会性（環境等への配慮）

コピーの裏紙利用、廃棄物の分類、不用な電灯の消灯など、センター職員自身が環境負荷を軽減するという視点を忘れず、利用者に対しても同様のことを求め、施設管理が徹底されました。

事業収支

経済性

施設の経費節減や業務運営の改善による支出抑制に取り組み、適正な経理が行われました。ただし、利用者の利便性を高めるために必要不可欠な支出が何であるかについて再検討は必要であると考えられます。

団体の経営状態

経営の健全性

財務諸表などを分析した結果、大きな問題はなく、経営は安定していると判断しました。平成30年度を対象とした監事監査においても、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況について適正であるとの報告がありました。

その他

障害者雇用に対する取組み

障害者雇用率は3.26%と法定雇用率2.2%を上回っています。また、障害者支援の一環として実習の受け入れも継続して行っています。

施設概要調書

1. 施設の概要

令和元年度

施設名	四日市市母子・父子福祉センター		所管課：こども家庭課
所在地	四日市市諏訪町2番2号 四日市市総合会館4F		設置年月：平成2年8月1日
設置目的	ひとり親家庭等の心身の健康を保持し生活の安定と向上を図るため、ひとり親家庭等からの各種の相談に応じるとともに、生活指導及び生業の指導を行う等の福祉の増進のための便宜を総合的に供与することを目的として設置。		
設置の根拠 (法令、条例等)	母子及び父子並びに寡婦福祉法及び四日市市母子・父子福祉センター条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	-
		延床面積 (㎡)	222
		四日市市総合会館4階の一部を事務室(相談室含む。)として使用しているほか、講座・サークル活動においては、別途技能習得室や会議室も、用途、人数に応じて活用している。	
	事業概要	①ひとり親家庭等を対象とした各種相談受付 ②技能習得や仲間づくりを通じた生活の安定向上と自立支援のための講座等を企画実施 ③利用者の交流、親睦、協力関係を深めるための自主サークル活動の支援を実施 ④ひとり親家庭等の福祉の向上に取り組む関係団体の主体的活動を促進するための支援を実施 ⑤施設の使用許可に関する業務を実施	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	242日	243日	1日
開館時間	9:00~17:00	9:00~17:00	

3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	
				計画対比
延べ利用者数		1,736	2,448	712人
平均利用率	平均	7.17人/日	10.07人/日	1.05日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	8,143,000	8,143,000	0
収入計	8,143,000	8,143,000	0
人件費	6,720,000	6,585,108	△ 134,892
管理費	680,000	601,409	△ 78,591
消耗品費	14,000	128,871	114,871
燃料費	0	0	0
印刷製本費	20,000	26,400	6,400
光熱水費	0	0	0
修繕料	20,000	0	△ 20,000
通信運搬費	9,000	6,666	△ 2,334
広告料	0	0	0
手数料	32,000	5,380	△ 26,620
保険料	2,000	5,520	3,520
委託料	0	0	0
賃借料	579,000	428,572	△ 150,428
その他	4,000	0	△ 4,000
事業費 (ソフト事業等)	486,000	442,000	△ 44,000
一般管理費	257,000	300,000	43,000
支出計	8,143,000	7,928,517	△ 214,483
収 支	0	214,483	214,483

令和元年度 母子・父子福祉センター 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	242	243	1日	飾り巻き寿司講座を土曜日に実施。	適
開館時間	9:00～17:00	9:00～17:00	計画通り	計画通り開館された。	適
事業開催	3事業	3事業	計画通り	計画通り開催された。	

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	個人利用者数	1736	2448	712	母子寡婦福祉会関係の相談件数が多かったため、全体の相談件数増加に繋がった。	適
	団体利用者数					
	事業参加者数	936	707	△229		適(条)
事業参加者実績	講座企画事業(パソコン)	72	95	23	講座の趣旨は適切であり、参加人数を増やすため日程を前年度と異なる時期で実施したことは評価できる。しかし、参加者を増やすために再検討が必要である。	適
	講座企画事業(飾り巻き寿司講座)	20	9	△11		適(条)
	自主サークル支援事業	844	603	△241		適(条)
稼働率	平均	(242日)66.1%	(243日)66.4%	0.30%	飾り巻き寿司講座を土曜日に実施。	適
	平日	(242日)100%	(242日)100%	0%		適
	土日祝	(0日)0.0%	(1日)0.81%	0.81%		適

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
指定管理料	8,143,000	8,143,000	0		適
収入計	8,143,000	8,143,000	0		
人件費	6,720,000	6,585,108	△134,892	〔勤務体制：正職1人、嘱託職員1人、臨時3人〕 ※今年度は、嘱託職員が1名増員となり、人件費分の収支が増額となっている。 ※消耗品費について、パソコンのケーブルやプリンターのインク、トナーの購入がかさみ、予算を圧迫した。 ※修繕(施設修繕ではない)はなかった。 ※手数料は、交流事業で施設に支払う費用を見込んでいたが、予定よりも安く済んだ。 ※その他は研修費用を見込んでいたが、日程が合わず、参加できなかったため、予算を使わなかった。 ※賃借料は、パーティションを借りる費用が安く済み、駐車券の費用が予定よりも必要なく、安く済んだため、予算が約15万円余った。	適
管理費	680,000	601,409	△78,591		適
消耗品費	14,000	128,871	114,871		
燃料費	0	0	0		
印刷製本費	20,000	26,400	6,400		
光熱水費	0	0	0		
修繕料	20,000	0	△20,000		
通信運搬費	9,000	6,666	△2,334		
広告料	0	0	0		
手数料	32,000	5,380	△26,620		
保険料	2,000	5,520	3,520		
委託料	0	0	0		
賃借料	579,000	428,572	△150,428		
その他	4,000	0	△4,000		
事業費(ソフト事業等)	486,000	442,000	△44,000	適	
一般管理費	257,000	300,000	43,000	適	
支出計	8,143,000	7,928,517	△214,483		
収支	0	214,483	214,483		適

総合コメント

ひとり親の相談受付について、幅広い専門知識と経験が欠かせないため、嘱託職員を1名増員した。相談受付について適正に行われており、今後も専門性を高めることが期待される。サークル支援事業については支援の方向性は合っており、かけはしや社会福祉協議会のホームページで周知活動を行った。しかしながら、サークルについては高齢者が多く、利用者が減少しており、今後も対策を検討する必要がある。
講座企画事業(飾り巻き寿司)においても支援の方向性は合っているが、開催方法等の再検討が必要である。パソコン講座については、開催方法を今年度から変更し、利用人数が増加したため、一定の評価ができる。
また、コスト意識をもった適正な運営がなされている。

令和元年度 母子・父子福祉センター 運営状況 チェックシート①-2

項目	事業分析	適否判断	
利用実績	<p>開館は計画どおり適切に行われた。なお、1日のみ、飾り巻き寿司講座を開催するために土曜日に開館した。</p> <p>●ひとり親等相談受付及び四日市母子福祉会支援 相談件数については、800人の相談を見込んでいたが、四日市母子寡婦福祉会関係の相談件数が増加したため、全体として相談件数が増加となった。また、相談対応として不適切なものはなかった。</p> <p>●講座企画事業(パソコン) 技能習得を目的として、ワード講座とエクセル講座を実施。講座自体には一定のニーズがあり、事業継続が求められる。一定の時期に、受講者が参加できる日程で個別で自由に参加してもらうことにより参加人数が増加したことは評価できる。また、託児付きでの実施は利用者の満足度も高く、評価できる。</p> <p>●講座企画事業(飾り巻き寿司) 親子交流の一環・技能習得を目的として、飾り巻き寿司講座を実施。参加者の満足度も高く、親子交流ができる講座としても有効であるため、事業継続が求められる。ただし、参加人数が少なかったため、実施方法の見直しが必要である。</p> <p>●自主サークル支援事業 6つのサークル活動が円滑におこなわれるよう、センターとして支援をおこなった。どのサークル活動においても①会員高齢化による参加率の低下 ②会員自身が新規会員の入会を強くは望んでいない、という課題があり、現状以上には活動が活性化しない。今年度、かけはしや社会福祉協議会のホームページで周知活動を行い、来年度も新規サークルの立ち上げ支援や、新規会員募集の援助をどう支援していくかが今後の課題である。</p>	適(条)	
事業収支	収入	収入は市からの受託金のみ。今年度から嘱託職員が1名増員されたため、人件費分が増額となっている。	適
	支出	受託金の範囲内で適切な運用がおこなわれており、コスト意識を持った運営がなされているところは高く評価できる。しかし、増員した嘱託職員をより活用するべく、よりセンターの専門性を高めるための支出及び利用者の利便性を高めるために必要不可欠な支出は何であるかの再検討は必要であり、来期は、連絡調整会議において、随時、支出に関する検討を指定管理者と市でおこなっていく。	適

令和元年度 母子・父子福祉センター 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否	
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	1/20現地確認	明確になっている。	適	
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	-	該当なし	-	
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	4/1計画、4/27報告	仕様書通りに提出された。	適	
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	4/1計画、4/27報告	仕様書通りに提出された。	適	
		収支予算書・決算書は提出されたか	4/1計画、4/27報告	仕様書通りに提出された。	適	
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月現地確認	定期的な訪問により、情報共有を行った。	適	
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	5/14現地確認	整備、保管されている。	適	
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	3/16現地確認	整備、保管されている。	適	
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	3/16現地確認	整備、保管されている。	適	
	非常時・緊急時の対応	付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	-	-	-	
緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか		5/14現地確認	仕様書通りに実施されている。	適		
緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか		-	緊急時案の発生なし。	-		
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	-	該当なし。	-	
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	-	該当なし。	-	
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	5/14現地確認	整備、保管されている。	適	
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	-	該当なし。	-	
			法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	-	該当なし。	-
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	5/14現地確認	整備、保管されている。	適	
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	現地確認	適切に行われている。	適	
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	-	該当なし。	-	
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	現地確認	適切に行われている。	適	
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	-	該当なし。	-	
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	-	該当なし。	-	
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	5/14現地確認	適切に管理されている。	適	
	防災	マニュアルは作成されているか	5/14現地確認	作成されている。	適	
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	-	該当なし。	-	
	花壇管理	四季の植栽は適切か	-	該当なし。	-	
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	3/16現地確認	整備されている。	適	
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	ホームページ確認	更新されている。	適	
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	-	該当なし。	-	
		システム管理	更新・変更は常になされているか	-	該当なし。	-
			トラブルに対応したか	-	該当なし。	-

総合コメント
 各種報告書等の提出は遅延なく仕様書通りにおこなわれており、適正に業務が履行された。施設の使用許可も適切におこなわれ、トラブル等の発生もなかった。

令和元年度 母子・父子福祉センター 依頼事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
講座企画事業(パソコン)	ひとり親家庭及び寡婦の生活の安定と自立を促進するための技能習得講座として、パソコン講座を開催 延べ参加者数6名	定員6名 延べ95名の利用があった。(8～11月)	1月末に反省会を開いた。参加者の半数は、満足度も高く、私費で講座受講を継続している人もいた。今回、なかなか満足できなかった人の意見として「フリーに自分で受講日を決めるやり方が負担になったので、逆に受講日を指定してほしい」というものが多かった。来年度、どのように対応していくかを検討する必要がある。	適
講座企画事業(飾り巻き寿司講座)	2月1日実施。10組20人募集。	延べ4組9名の利用があった。	広報、かけはし、過去の利用者への案内を行ったが、利用者は少なかった。このため、来年は12月に開催し、クリスマスとお正月のイベントに合わせた開催を検討する。	適
サークル(書道)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回 年度当初登録人数 17名	延べ248名の利用があった。	継続参加者が多く、仲間作りの機会・交流の場として定着している。	適
サークル(手芸)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回 年度当初登録人数 5名	延べ105名の利用があった。	継続参加者が多く、仲間作りの機会・交流の場として定着している。	適
サークル(編物)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回 年度当初登録人数 11名	延べ144名の利用があった。	継続参加者が多く、仲間作りの機会・交流の場として定着している。	適
サークル(和裁)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月3回 年度当初登録人数 4名	延べ56名の利用があった。	継続参加者が多く、仲間作りの機会・交流の場として定着している。	適
サークル(リフォーム)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回 年度当初登録人数 5名	延べ50名の利用があった。	継続参加者が多く、仲間作りの機会・交流の場として定着している。	適

総合コメント
 パソコン講座について、計画よりも多い参加人数で講座の趣旨が適切であった。
 飾り巻き寿司講座について、講座の趣旨は適切であり、参加人数を増やすため日程を前年度と異なる時期で実施したことは評価できる。しかし、参加者を増やすために再検討が必要である。
 サークルについて、メンバーの固定化と高齢化が課題である。しかし、社会福祉協議会のホームページやかけはしで周知活動を行ったことは評価できる。

令和元年度 母子・父子福祉センター 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月現地確認	情報交換、連絡が毎月1回のペースで行われた。	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	3/16現地確認	保管されている。	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	-	-	-
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
修理	修繕工事は適切であったか	-	-	-	
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	-	-	-
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
	修理	修繕工事は適切であったか	-	-	-
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	2/14現地確認	異常は認められなかった。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	2/14現地確認	不具合は生じなかった。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	2/14現地確認	修理、更新が必要な備品等はなかった。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	2/14現地確認	修繕等はなし。	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	-	-	-
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
	修理	修繕工事は適切であったか	-	-	-

総合コメント
 備品・什器等保守管理については、適正に管理がなされていた。

令和元年度 母子・父子福祉センター サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	毎月現地確認	予約できた。	適
		許可証は速やかに発行されたか	毎月現地確認	発行された。	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	-	-	-
		ホームページは見易いか	-	-	-
	受付・応対 業務	担当者の接客態度は良かったか	毎月現地確認	良好であった。	適
		利用者に対する指導は適切であったか	毎月現地確認	適切であった。	適
		業務従業者は名札を着用しているか	毎月現地確認	適切であった。	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	アンケート確認	内容は満足できるものであった。	適	
維持管理業務	施設・設備 の保守管理 業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	適切に管理されていた。	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	適切に管理されていた。	適
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	-	-	-
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	-	-	-
	警備業務	避難経路には障害物がないか	-	-	-
	外構・植栽 管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	-	-	-
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	-	-	-
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	-	-	-
		草刈りや除草はされているか	-	-	-
	環境衛生管理 業務	快適に利用できる環境となっていたか	毎月現地確認	快適に利用できる環境であった。	適
	廃棄物処理 業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	毎月現地確認	分別が行われていた。	適
	備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	放置はない。	適

総合コメント

運営・維持管理に関しては、毎月1回のペースで、担当の職員がセンターを訪れ現地の確認をおこなったが、特に大きな問題はなく、適切な管理がなされていた。